

共通システム構築による組合員間の生産管理の効率化

新潟県本州グループ協同組合

多品種小ロットでも短納期対応が可能のように業務プロセス全体を見直し、発注から納品までのスケジュールを電子化し、お客様の要請に迅速な対応ができるようになった。

- ▶所在地：〒950-1471 新潟県新潟市南区和泉 706-1 株式会社スズキ紙器内
- ▶電話番号：025-373-1151 ▶FAX 番号：025-373-4360 ▶設立：昭和50年5月 ▶出資金：6,000千円
- ▶組織形態：同業種同志型組合 ▶地区：新潟市他6市 ▶主な業種：印刷紙器、段ボール箱製造業
- ▶組合員：8人 ▶組合専従者：8人 ▶専従理事：1人 ▶URL：-

背景と目的

紙器・段ボール業界を取りまく経済環境は予断を許さない状況にあり、さらに顧客からの多品種小ロット、短納期での注文が多くなっており、中小段ボールメーカーは、大手メーカーには価格競争で負けることが多いため、ITを活用して短納期をはじめとした顧客サービスを充実させて、差別化する必要があった。

そのため、当組合では、そのような現状の中でIT化の狙いとして、競争力を維持・向上する必要があり、組合員間の協業（ネットワーク構築）を推し進めるために、①コストダウンの取り組み、②多品種、小ロット生産の取り組み、③短納期の取り組み、④情報サービスの質的向上とスピードアップ、⑤組合員間の情報の共有化を図ることとした。

事業・活動の内容

ITコーディネータや中小企業診断士の協力やITベンダーを交えた情報ネットワークシステム開発事業委員会の開催（7回）により、経営課題を解決するための情報システムを構築できた。

具体的には、発注から納品までのスケジュールを電子化し、工場内にPC端末を設置して、工程の負荷状況をリアルタイムに把握する。また、配送計画も電子化し、多品種・小ロットでも短納期対応が可能のように業務プロセス全体の見直しに取り組んだ。さらに、品質の安定化を図り、商品提案時のサンプル品の作成や試作品の作成に迅速な対応ができるようにし、情報の一元化や共有化により、受注、進捗、在庫、資材発注などの業務の効率化を実現した。

また、ITを活用してコスト削減効果や納期の短縮化が実現できることが証明できたため、組合員のITへの取り組みが積極的になってきており、消極的だった組合員も意識の変化がみられ始めている。さらに、同じ業界といえども組合員毎の業務フローの違いがあったが、「システムに業務を合わせる」という考え方で例外処理を作らないことで、組合員が活用できる本当の意味での共通システム化が実現した。

成果

具体的な成果としては、①納期の短縮化：現状平均4日であるが、これを3日へ短縮している、②内段取り時間の短縮化：機械のセットアップ（内段取り）時間の短縮している、③事務処理の効率化：製造指図書の削減など現場でのペーパーレス化を実現している。さらに、今後は組合員や購入先、外注先、顧客との間で、情報の共有化を進めていく予定である。

